

The 2 Chome Times 2023年 8月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO303号



2023年・8月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 8月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★神戸マラソン2023開催 ～「ありがとう」を、この街と。～

神戸マラソンは11月19日(日)に開催されます。参加者は2万人を予定しており、



大会テーマは「感謝と友情」—Thanks & Friendship— となっています。神戸マラソンは阪神・淡路大震災から復興を遂げて新たなステージへと進む神戸の街を国内外に発信するとともに、手を差し伸べて頂いた方々に感謝の気持ちを伝える大会です。そしてキャッチフレーズがタイトルの「「ありがとう」を、この街と。」になっています。コースは神戸市役所前をスタートし、明石



海峡大橋の西方(垂水区西舞子)を折り返し、ポートアイランド(市民広場付近)をフィニッシュとする(公財)日本陸上競技連盟及びワールドアスレティックス(WA) IAIMS 公認コースとなっていて、制限時間は7時間です。大会ゲストにはあの森裕子さん(1992 バルセロナオリンピック女子マラソン 銀メダル、1996 アトランタオリンピック 女子マラソン 銅メダル)も参加されており、大会を盛り上げます。既に参加エントリーは締め切られていますが、参加予定の方々には本当に楽しいイベントですし、少しでも大会が盛り上がる様に当日は沿道で観戦される方はどうぞ大きな声援をランナーに掛けてあげてください。

★夢未来号・晴れ着プロジェクト

7月27日(木)にセンタープラザ西館において夢未来号に関連した「晴れ着プロジェクト」の写真贈呈



式がありました。これは神戸市内の児童養護施設の小学校6年生を毎年沖縄に研修旅行にお連れする「夢未来号」プロジェクトに加えて、この児童さん達が成人される時に成人式で身に着ける晴れ着を着て頂き、記念写真を撮って一



生の思い出にして頂こうというものです。写真は既に2月に撮影されていましたが、当人の方々も自分の晴れ着での写真を見るのはこの日が初めてでした。久利会長は「大勢の大人が貴方達を見守っているし、将来何かあればこの写真を見返して頂き、自分は一人ではないと思出して欲しい」と祝辞を述べられていました。その返礼の挨拶の中で実業学院の航太君は「小学校6年生の時に飛行機で行かせて頂いた沖縄もちろん初めてだったけれど、今回の様に晴れ着を着たのも初めてで、皆様のお陰で貴重な体験をさせて頂いている」と感謝の気持ちを表していました。



お礼を述べる航太君

現代っらしく明るく笑顔の航太君でしたが、その言葉が自分達の置かれている境遇を少し反映させているようで、「これからも彼らの人生に幸多かれ」と願う気持ちで一杯でした。

改めてこのプロジェクトにご賛同頂き、ご協力頂いた関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

サポーターの方々：神戸ベルェベル美容専門学校、ウエディングサロン イノウエ、

神戸スポーツスタカメ、兵庫県写真材料商 協同組合 (各団体敬称略)

★今年のワインラベルの作品が決まりました

毎年、組合員の方々に11月にお配りしている神戸ワインですが、今年度のラベルが決定いたしました。ご存知の方も多いとは思いますが、毎年ラベルは神戸の誇りでもあり、街にもステンドグラスが設置されている川西 英先生の名作である「神戸百景」から作品を選び、それをラベルとして使用させて頂いています。その作品の一つである「消防出初式」が今回、選ばれました。この作品が描かれた当時、出初め式は殉難消防士の碑が設置されている湊川公園(1980年代前半に整備され現在の姿に)で行われていましたが、現在はメリケンパークで行われています。先生のモチーフには湊川勸業館、野外音楽堂など、懐かしい風景が登場します。ここには描かれていませんが、神戸タワーも新開地繁栄のシンボルとして、昭和の神戸を見つめ続けていました。2丁目の東西入り口上部にあります上記ステンドグラスは東側が「脊山眺望」、西側が「港俯瞰」です。素晴らしい作品ですからお時間のある時にじっくりご覧になってください。



(制作：1952.1.1～1953.2.20)

★神戸百景とものづくりアーティスト展 川西英 生誕130年記念イベント!

ワインのラベルの記事でもご紹介した神戸を代表する版画家、川西 英先生が2024年、生誕130年記念を迎えます。そのイベントとして9月30日迄、リニューアルされた三宮地下通路サンポチカにおいて「神戸百景」の特別展示がなされています。



「サンポチカ」とは地下鉄の三宮・花時計前駅の西側、サンチカに繋がる辺りから、大丸の地下入り口方向に通じる地下道を指します。そこに8月31日迄を前期として50点、9月1日から30日までの後期として作品を入れ替え50点の、計100点が展示されています。その他にも「神戸をかたる画家たち」として小磯良平氏が1970年に制作された「三人の踊り子」なども展示されており、一見に値しますので、ご存じではなかった方も是非、この機会に足を運んでみて下さい。



★編集後記

私事で恐縮ですが、最近私の母親が神戸中央市民病院で心臓のカテーテル手術を受け、何とか無事に終了し、退院する事が出来ました。その幸運さと病院の皆様には心から感謝しております。この病院のモットーは「高度先端医療を全ての市民の方へ。そして体に優しい手術」だそうで、久しぶりに病院に行きましたが、改めて施設の充実振りとスタッフの人数の多さに大いに驚きました。そして入り口での感染対策のスタッフから始まり、案内のスタッフ、看護師さんのソフトな対応、主治医、麻酔医の丁寧な説明と患者の気持ちに寄り添い緊張をほぐす笑顔等々、本当に神戸が誇れる病院だなと感動しました。血管造影での連続動画を使った術後の説明を受けましたが、先生の技術は素晴らしいと確信しています。一人の神戸市民として、我が街にこの病院と統合された先端医療センターや子供病院もあり、「神戸っていいな」と心の底から思いました。皆様も神戸に住むという事、神戸と関わりのある事がとても幸運であり、特別な事だときっと実感する時が来ると思います。神戸がこれからも益々発展すれば嬉しいですね。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

